

第1回（昭和45年）



いけなが ひろし
(故) 池永 浩 氏

生年月日 明治33年12月8日生

住 所 田辺市下屋敷町

明治33年（1900年）12月、西牟婁郡田辺町（現田辺市下屋敷町）に生まれる。

田辺市文化財調査委員として市の重要文化財万代記の解読の委嘱を受け、「日本語を日本人が読めないはずがない」として困難な解読にあたって約10年、昭和42年（1967年）、750万文字、全105巻の解読を終える。その副産物ともいえるべき「万代記、田辺町大帳、御用留対照表」は、当地方の近世史研究家必携の労作。

「義堂」と号し、漢文、漢詩に精通し、その詩は「池永義堂先生詩略解」に収録されている。

書も丹羽海鶴氏に師事、高雅な書風で一家をなす。

東京高等師範学校卒。大阪府内で教諭を歴任後田辺に帰り、田辺高等女学校教諭を経て、田辺高等学校教頭。